

米原市まちづくり基本条例をつくる会 前文起草委員会（案）

私たちの米原市は伊吹・霊仙山系、天野川、琵琶湖をめぐる伊吹町・山東町・米原町・近江町が2005年に合併して生まれた市です。ホタルが飛び交い、梅花藻が咲き、ゆたかな湧水が潤すなかで、人々は自然と調和しながらその営みを続けてきました。それとともに、この地域は古代から、人やモノや情報の結び目として日本の歴史に深く関わり、東西文化の接点としてこの地域独自の文化と伝統を生み出してきました。また、人々は深い信仰を背景に強い一体感を育みながら、この地に愛着をもって住み続け、その歴史は私たちの現代における社会生活のあり方に深く関わっています。

合併によって、私たちは新しい力を手に入れました。それまでの個々のまちづくりを統合することで、私たちの前には、恵まれたさまざまな地域資源を活かした新しい都市づくりの可能性が広がりました。

私たちは、地域や人々の多様性を尊重し、環境を守りつつ、歴史や文化やモノの流れの結び目としての地域の役割を、さらに輝かしく発展させていきたいと思います。また、市民と行政と事業者の役割分担のもと、情報を共有し、協働によって私たちのまちを豊かに充実させるために、全力を挙げて取り組んでいきたいと思います。

私たち市民が、自治・自立の理念のもと、いつまでもこのまちに安心して住み続けることができるよう、ここにこの条例を制定します。